

富山県高岡市における「災害時多言語表示シートを活用した防災訓練結果(概要)」

- ◎ **開催日時**：平成31年3月2日(日)
- ◎ **開催場所**：高岡市立成美小学校
- ◎ **参加者**：地域の自治会、外国人住民等 計40名

取組の概要

富山県高岡市では、地域の小学校を会場として、地域の自治会の協力を得ながら、英語圏住民、ポルトガル語圏住民、中国語圏住民にそれぞれ日本人を加えたグループに分かれ、避難生活で不安に思うことについて、成美小学校の図面を基に応や必要となる多言語表示シートについてグループ討論を実施した。

訓練の後半には、参加者が校内を巡回校内巡視をしながら、討論して必要だと思った多言語表示シートを校内に貼りつけ、実際に活用できるかその場で意見交換を行った。

訓練の内容

①避難所生活のシミュレーション

避難生活で不安に思うことについて、成美小学校の図面を基に応や必要となる多言語表示シートについてグループ討論を実施

②多言語表示シートの検討

実際に避難所で生活した場合に必要な多言語表示シートとその掲示場所について検討

③校内巡回及び多言語シートの掲示

校内を巡回し、避難所となる学校のことを知るとともに、多言語表示シートを実際に掲示



講師(地域国際化推進アドバイザー)による訓練説明

訓練の内容 (続き)

④結果発表

訓練を通してグループで出た意見や、自分で考えたこと、感じたことを発表し、参加者で共有した。



校内巡回及びシート掲示の様子

結果発表の様子



取組の成果

- ★ 地域の自治会の方と外国人住民が同じグループで訓練を実施することにより、お互いを理解し、平時の顔の見える関係を構築するための良い機会となった。
- ★ 多言語表示シートを実際に見て、使い方を知るとともに、その必要性和効果的な活用方法について自分たちで考えることができた。
- ★ 英語圏、ポルトガル語圏、中国語圏それぞれ異なる文化圏のグループで訓練を実施し、最後に意見交換することで、それぞれの文化圏ごとの考え方、感じ方の違いを知ることができた。